

12/4 18:30-20:30 より良い春闘の活かし方

活動専門

グループワーク

■ 概要

労働組合の代名詞とも言える「春闘」。しかし、その内実は経済環境や時代のニーズに応じて変化してきました。そして、その変化について春闘の機能不全を指摘されることもあります。一方、依然として多くの活動リソースが割かれる労使対話の枠組みであり、その存在感は今もなお健在であると言ってよいでしょう。だからこそ、その有効な活かし方を見出すことは、これからの労働組合の活動を構想するうえで喫緊の課題と言えます。

本講座では「春闘」という変化と伝統がせめぎあう活動の枠組みを、これからの時代の中でどのように活かすのかについて、参加者とともに考える場とします。

■ カリキュラム

1. 春闘とは
2. 春闘の機能不全
3. これからの春闘の活かし方のポイント
4. 活動事例から考える春闘の活かし方
5. グループワーク

■ ポイント

- 「春闘」がおかれている現状整理を行い、新しい春闘の活かし方を考えます。
- j.unionとしてご支援してきた「春闘」の活かし方について活動事例をふまえて、実践的な内容を学べます。
- 他労組とのグループなども行いますので、自組織以外の取り組みなども参考にいただけます。



網島 廣太郎

【プロフィール】

j.union株式会社専属講師
千葉県生まれ。法政大学大学院社会科学研究所修士課程修了後、2007年5月、j.union株式会社に入社。現在に至るまで「働きがい科学」をテーマに、営業として約150以上の労働組合の活動支援に携わる。近年では、ワーク・ライフ・バランスの推進、組合員意識調査の活動企画、そして被考課者の意識改革について、組合員・組合役員が参加型で関与できる活動プロセスの立案に注力している。